公益社団法人福岡貿易会　貿易法務オンラインセミナー

物流・貿易に特化した弁護士が教える！！

～実務における誤解やトラブルとその対応～

日　時　令和7年8月7日（木）　13:30～15:30
（オンライン：ZOOMウェビナー）

開催形式　【オンライン】ZOOMウェビナー
QRコードからZOOMウェビナー事前登録ください。

参加無料
ZOOM参加
事前登録制

講　師　弁護士　大口　裕司氏　　三村小松法律事務所

弁護士、海事補佐人、AIBA認定貿易アドバイザー（JETRO認定貿易アドバイザーの後継資格）。
2004年早稲田大学法学部卒業、2006年慶應義塾大学大学院法務研究科修了、2015年英国サウサンプトン大学大学院(海事法専攻)修了、2020年4月三村小松山縣法律事務所に参画（現三村小松法律事務所、同所の海事・物流部門と国際ビジネス部門の代表を務める）。大型コンテナ船事故など、物流・貿易に関する様々な案件を扱う。日本海法学会、日本空法学会、日本海損精算人協会などに所属。

講　演

第１　国際売買と保険
・使うべきインコタームズを誤ったケース
・インコタームズと海上保険の関係性を理解していないケース
・海上保険でカバーされると思っていたのにカバーされないケース
・貿易保険と海上保険の違いを理解していますか？

第２　運送契約の理解
・フォワーダー・物流業者の地位についての誤解
・BLの読み方についてのよくある誤解
・サレンダーBL（元地回収船荷証券）のリスク
・BLとwaybillの違いについての誤解

第３　約款の理解
・不知約款の効力が認められないケース
・シッパーズパックコンテナの温度管理は全て荷主の責任？
・裏面約款の規定が全て有効とは限らないって本当ですか？

第４　クレーム実務
(1) **実務の理解**
・フレイトコレクトなら荷送人は請求されないって本当？
・荷主が億単位の損害賠償請求を受けるケースって何？
(2) 運送人と荷主間の攻防
・ヘーグ・ヴィスビー・ルールとハンブルグ・ルールって何？

第５　紛争処理
(1)　国際紛争の特殊性
・日本発着の貨物なら日本法で解釈すればいいですよね？
・訴訟と仲裁と調停の違い、国際取引のリスク
(2) 法務のポイント
・紛争になった場合のコストを軽減するための方法とは？
・弁護士を有効に活用するには？

第６　知らずに違法行為をしてしまわないように
・貿易や物流のコンサルタントが取り扱うと違法になる業務は？
・貿易会社や物流業者が見過ごしがちな業法違反の論点は？

【お申込み】　**締切：令和7年8月5日**

貴社名		ZOOMウェビナー参加（登録）	
役職			
氏名			
TEL		E-mail	
備考	※同業者様のご参加はご遠慮いただいております。 ご記入いただきました情報は、（公社）福岡貿易会が適切に管理し、セミナー受付業務に利用します。		

お問合せ先：公益社団法人福岡貿易会 事務局
TEL：092-452-0707　　E-mail: info@fukuoka-fta.or.jp